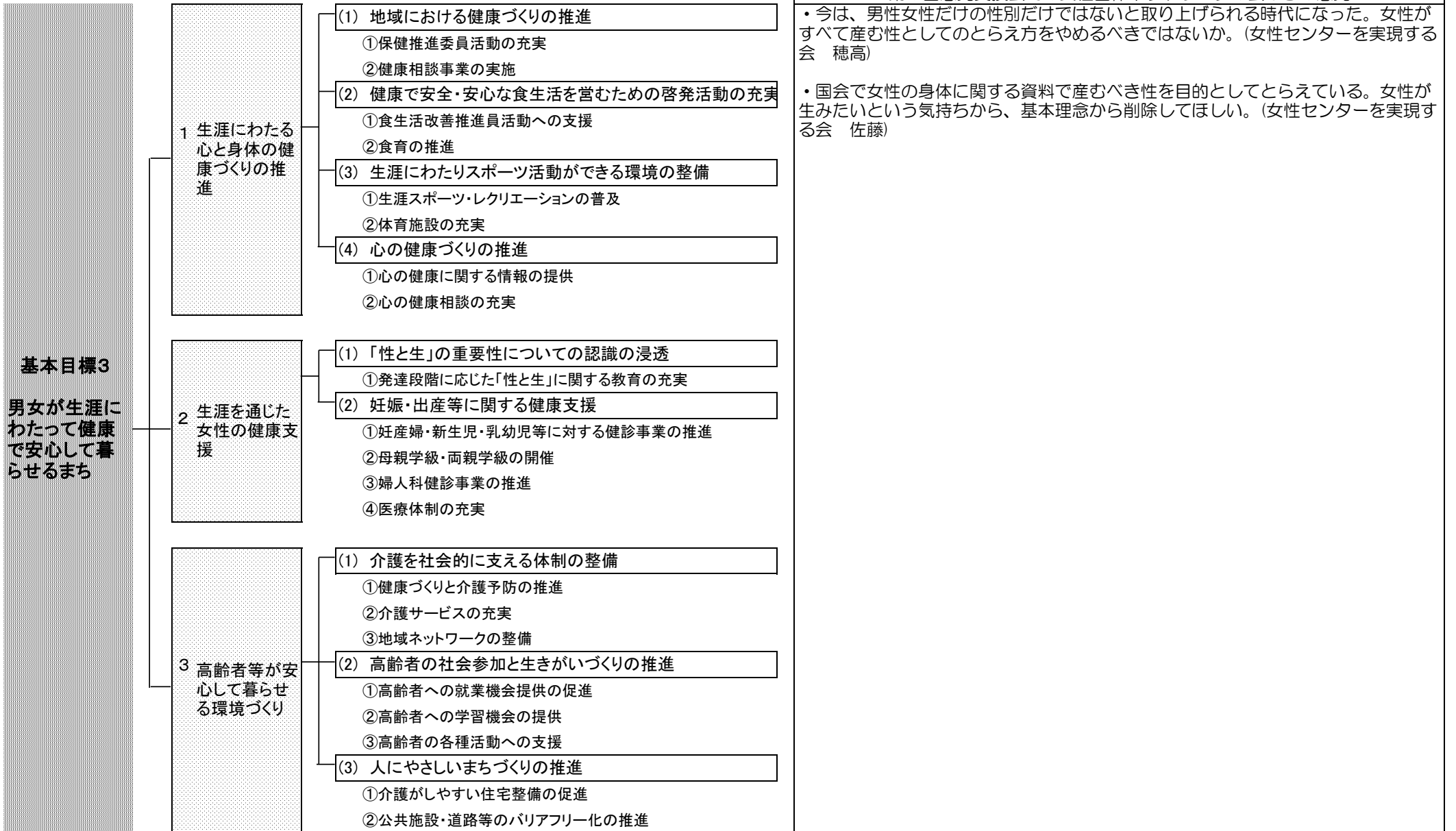
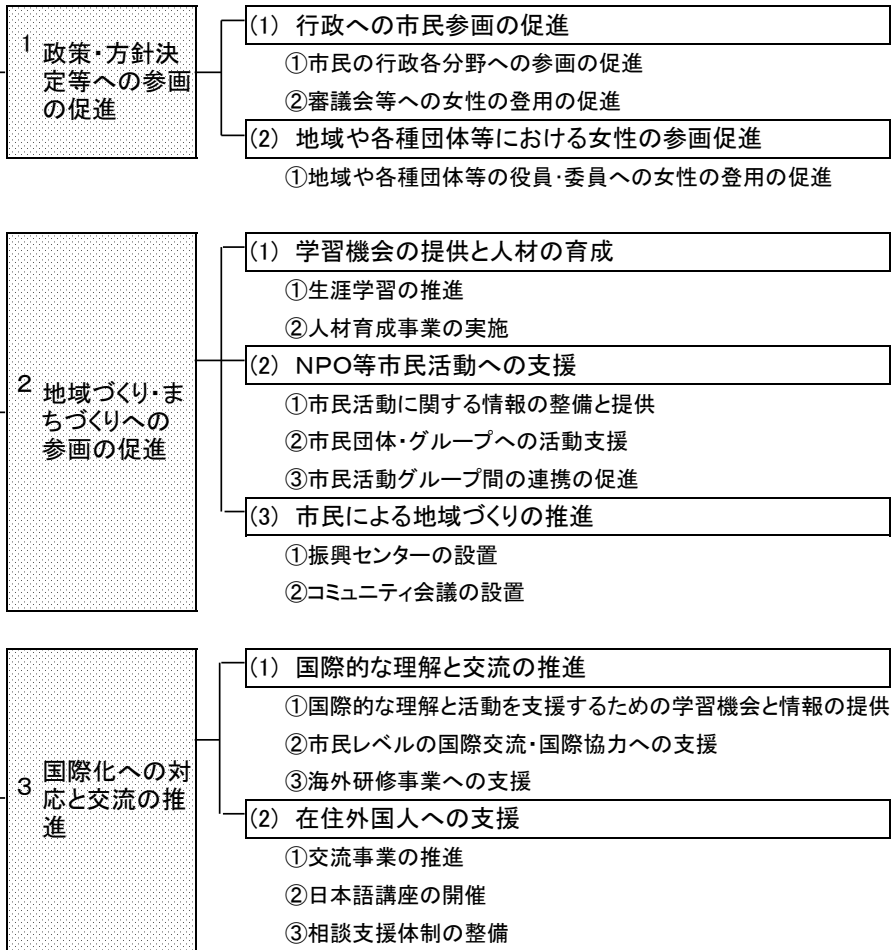


■第3回意見交換会資料(花巻市女性団体ネットワークの会)



基本目標4
男女ともにいきいきと参画できるまち



第1回意見交換会での女性団体ネットワークの会からの意見

- ・農協は、女性の正組合員や理事・参与また女性総代を増やすため枠を設けている。そのため、以前よりは進んできている。女性自身にも、自分が役をやっただけでなく、後継者のために道を開いてやるような努力なりが不足していて、女性自身にも課題があると感じている。本人の意識と周囲の後押しが大事。あらゆる面で男性女性が半々になることで、お互いに住みやすい地域、働きやすい農協ができるのではないかと思う。(JA女性部 葛巻)
- ・防災会議の中では女性委員が1・2人しかいないので意見が言いにくい状況にある。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・市の審議会の募集には意識的に男女が入るようにしてほしい。男女共同参画の意識啓発と様々な制度を連携させて進めてほしい。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・まちづくりに参加する市民の割合は81.2%であるが自分の地区では参加する女性は少ない。(交通安全母の会 伊藤)
- ・市政懇談会でも女性の参加者が少ない。コミュニティ会議の役員も男性が多い。男女共同参画推進員に男性が少ない。(JA女性部 葛巻)
- ・女性団体ネットワークの会から審議会に団体推薦することがいいのではないか。(女性センターを実現する会 穂高)
- ・先進国ではクォータ制をとっているところがほとんどでそこは必要だと思う。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・ボランティアなどへの参加については、もっとPRしていけばもっとできると思う。(地域婦人団体協議会 小原)
- ・自分は男女共同参画の意識が低く、市政懇談会などにもっと参加すれば行政がわかると反省している。自分の地域をまずは変えていきたい。(老人クラブ連合会女性部 小松原)
- ・市職員の上層部の男女の割合が低い、女性たちには意欲を持って仕事をできる条件づくりをやっていかないとならないと思う。(新日本婦人の会 多田)
- ・審議会などを市民に知っていただき女性にも関心のあるところに入っていただくよう誘導していくことが必要だと思う。(女性センターを実現する会 佐藤)